

# ポテンシャルを活かした「ゼロカーボンるもい」推進プロジェクト

【推進エリア】留萌地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

## 目 的

留萌地域は、日本海からの強風や、管内の全市町村が海に面していること、総面積の83パーセントを森林が占めることなど、再生可能エネルギー等の高いポテンシャルを有しています。

こうした高いポテンシャルを活かし、藻場の造成などのブルーカーボン、中山間地域特有のスマート農業、木質バイオマスなどの森林資源の活用、風力発電などの再生可能エネルギーの活用、環境に配慮した循環型社会の実現に向けた取組など、「ゼロカーボンるもい」の推進を行うとともに、こうした取組を通じて、管内の基幹産業である1次産業の振興や新たな産業創出に繋げていきます。

## 施策展開

- 【施策】
- 再生可能エネルギー導入の推進
  - ブルーカーボンの取組推進による水産業振興
  - 「るもい式スマート農業」の推進による農業振興
  - 森林資源の循環利用\*・木育\*の推進
  - 循環型社会の推進

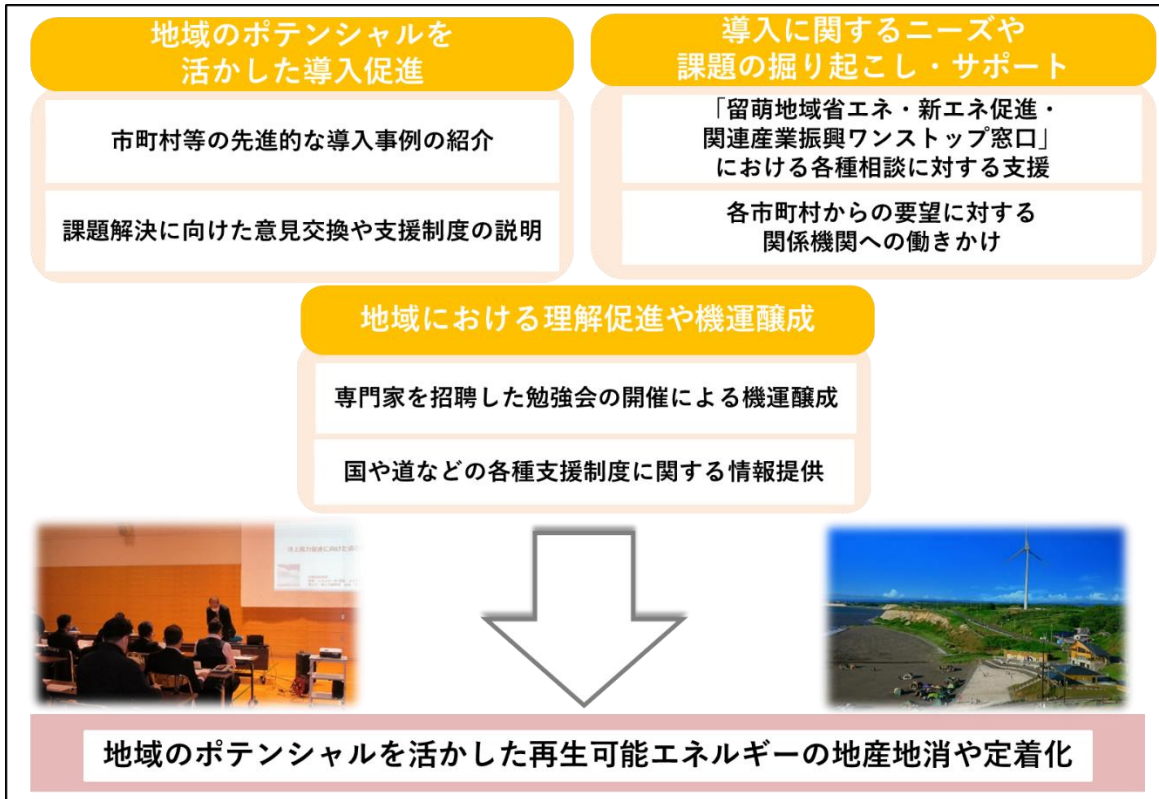
### <プロジェクトの重要業績指標（KPI\*）>

○新エネルギー発電設備容量	9.3万kw(R3)	→	17.3万kw(R11)
○増殖場造成による藻場面積	290.4ha(R5)	→	294.5ha(R11)
○ICT農業機械（自動操舵型トラクター）の導入台数	31台(R2)	→	43台(R11)
○木材の素材生産量	46,800m <sup>3</sup> (R6)	→	56,900m <sup>3</sup> (R11)
○市町村等が新規に実施するゼロカーボンに関する講座、教室、イベントの回数	1回(R5)	→	7回(R11)

<施策毎の主な取組方向>

■ 再生可能エネルギー導入の推進

- 地域のポテンシャルを活かした導入促進
- 導入に関するニーズや課題の掘り起こし・サポート
- 地域における理解促進や機運醸成



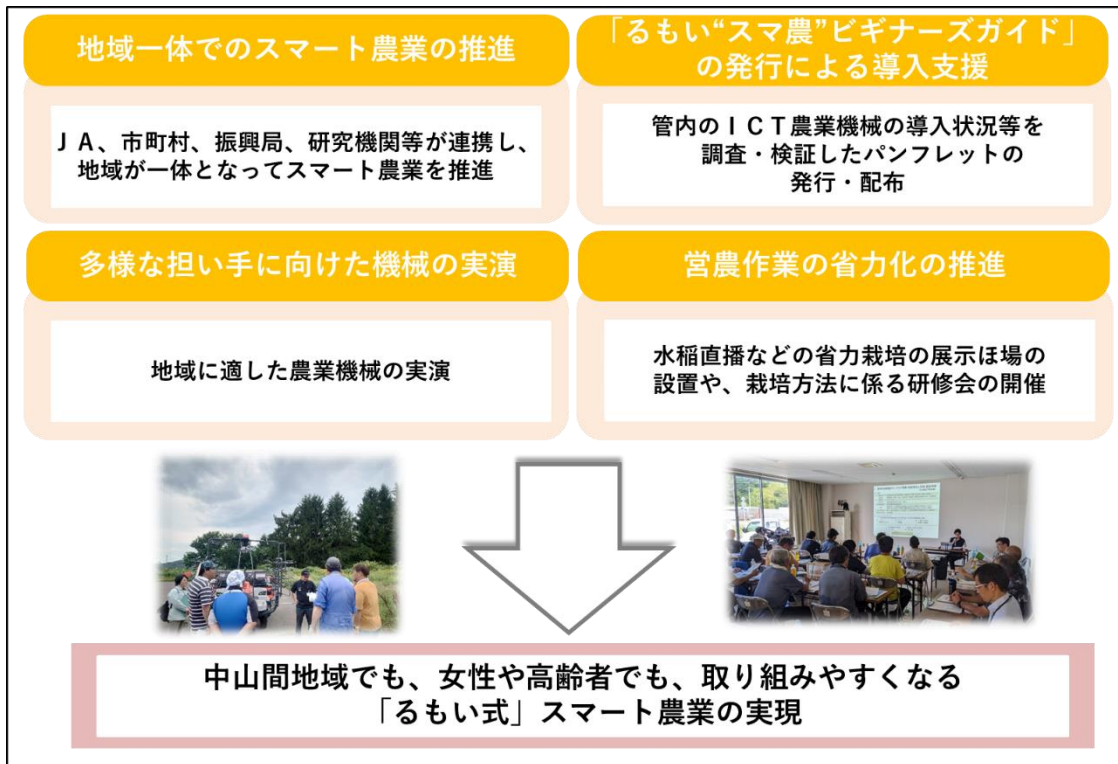
■ ブルーカーボンの取組推進による水産業振興

- 地域における理解促進や情報共有
- 漁業者・地域住民等への啓発活動
- 地域の特性、環境に応じた藻場等の造成・保全



■ 「るもい式スマート農業」の推進による農業振興

- 地域一体でのスマート農業の推進
- 「るもい“スマ農”ビギナーズガイド」の発行による導入支援
- 多様な担い手に向けた機械の実演
- 営農作業の省力化の推進



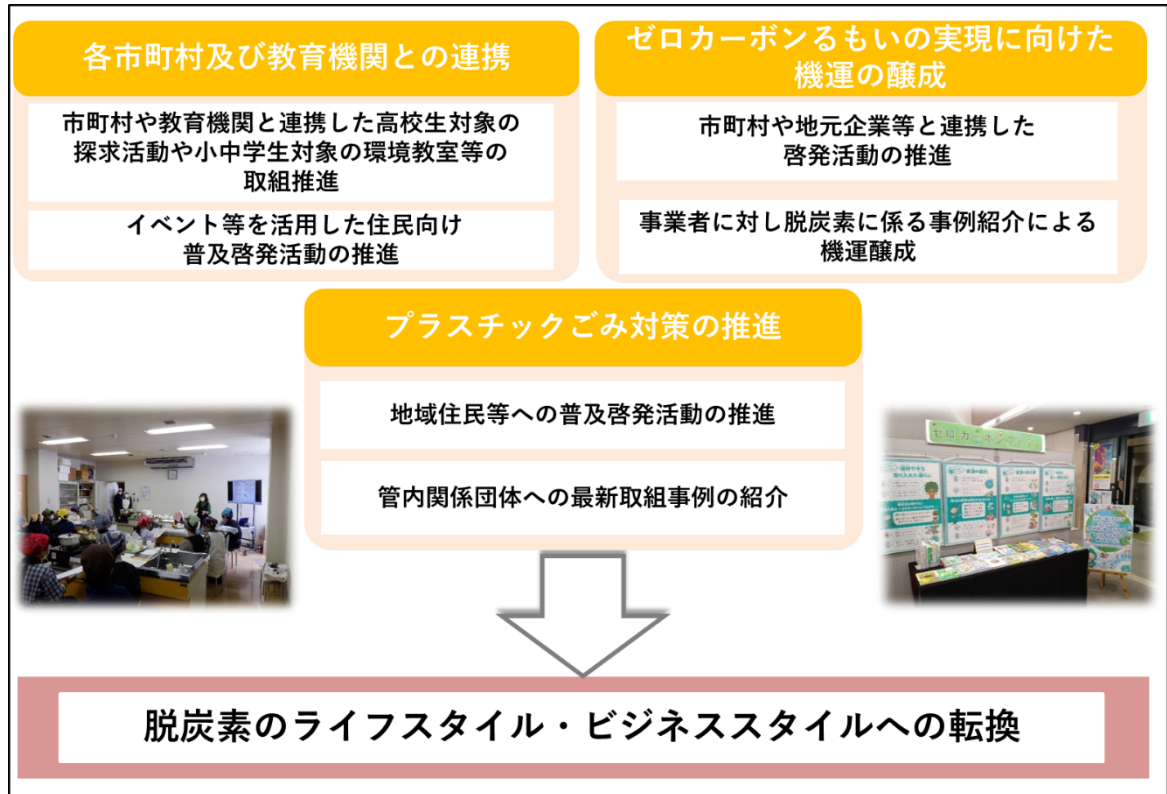
■ 森林資源の循環利用<sup>※</sup>・木育<sup>※</sup>の推進

- 適切な管理に基づく森林整備の推進
- 地域材の利用推進
- 木育の推進



## ■ 循環型社会の推進

- 各市町村及び教育機関との連携
- ゼロカーボンるもいの実現に向けた機運の醸成
- プラスチックごみ対策の推進



### 関連する主な基盤整備

- 新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備
- 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
  - ・農業生産基盤の整備
- 水産物供給基地としての漁港・漁場づくり
  - ・漁港の機能向上などの整備・漁場の整備
- 適切な森林の整備と保全の促進

### 関連するSDGsの目標



# るもい地域の未来を担う人材の育成・確保プロジェクト

【推進エリア】留萌地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

## 目的

留萌地域においては、全道を上回る急速な人口減少や少子高齢化の進行などにより、基幹産業である農林水産業や商工業の担い手だけではなく、様々な分野での人手不足が表面化してきており、地域における活力の低下が大きな課題となっています。

このような特徴を踏まえ、地域の特性に応じた労働力確保の仕組みづくりや移住・定住の促進、関係人口の創出など地域への人の流れの拡大に向けた取組を推進するとともに、デジタル技術を活用した担い手不足対策などにも取り組むことで、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域づくりを進めていきます。

## 施策展開

- 【施策】
- 地域の産業を支える働き手の育成・確保
  - 地域おこし協力隊、外国人材など多様な人材の活用
  - 移住・定住の促進及びデジタル技術を活用した担い手不足対策

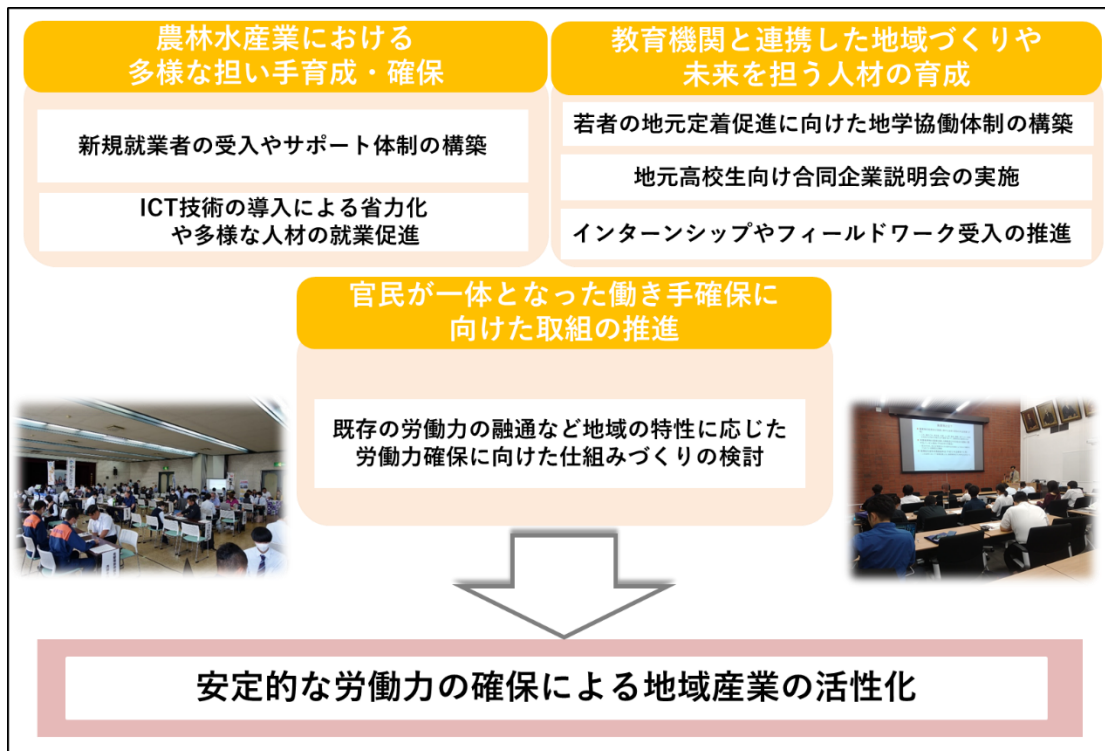
### <プロジェクトの重要業績指標（KPI※）>

○新規就業者数（農業）	8.8人（H30～R4平均）	→	10人（R7～R11平均）
○新規就業者数（漁業）	7人（R元～R5平均）	→	9人以上（R11）
○管内新規高卒者の就職者に占める管内就職の割合	50%（R5）	→	50%（R11）
○管内地域おこし協力隊員数	24人（R5）	→	35人（R11）
○ICT農業機械（自動操舵型トラクター）の導入台数	31台（R2）	→	43台（R11）

<施策毎の主な取組方向>

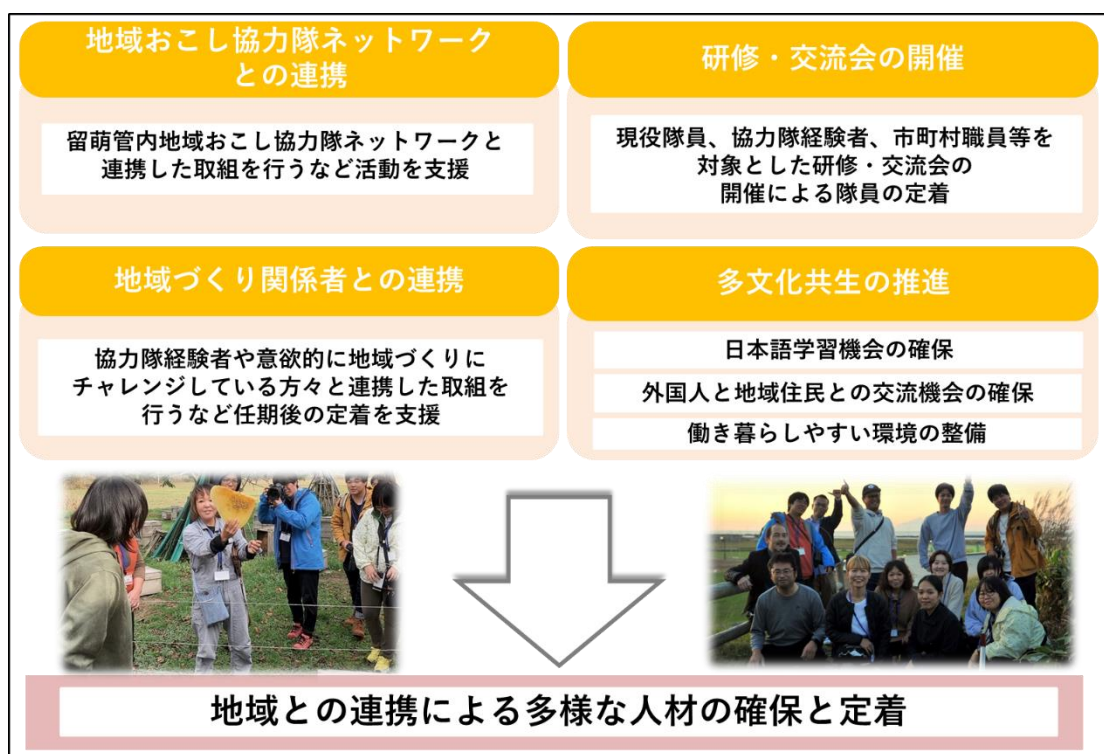
■ 地域の産業を支える働き手の育成・確保

- 農林水産業における多様な担い手育成・確保
- 教育機関と連携した地域づくりや未来を担う人材の育成
- 官民が一体となった働き手確保に向けた取組の推進



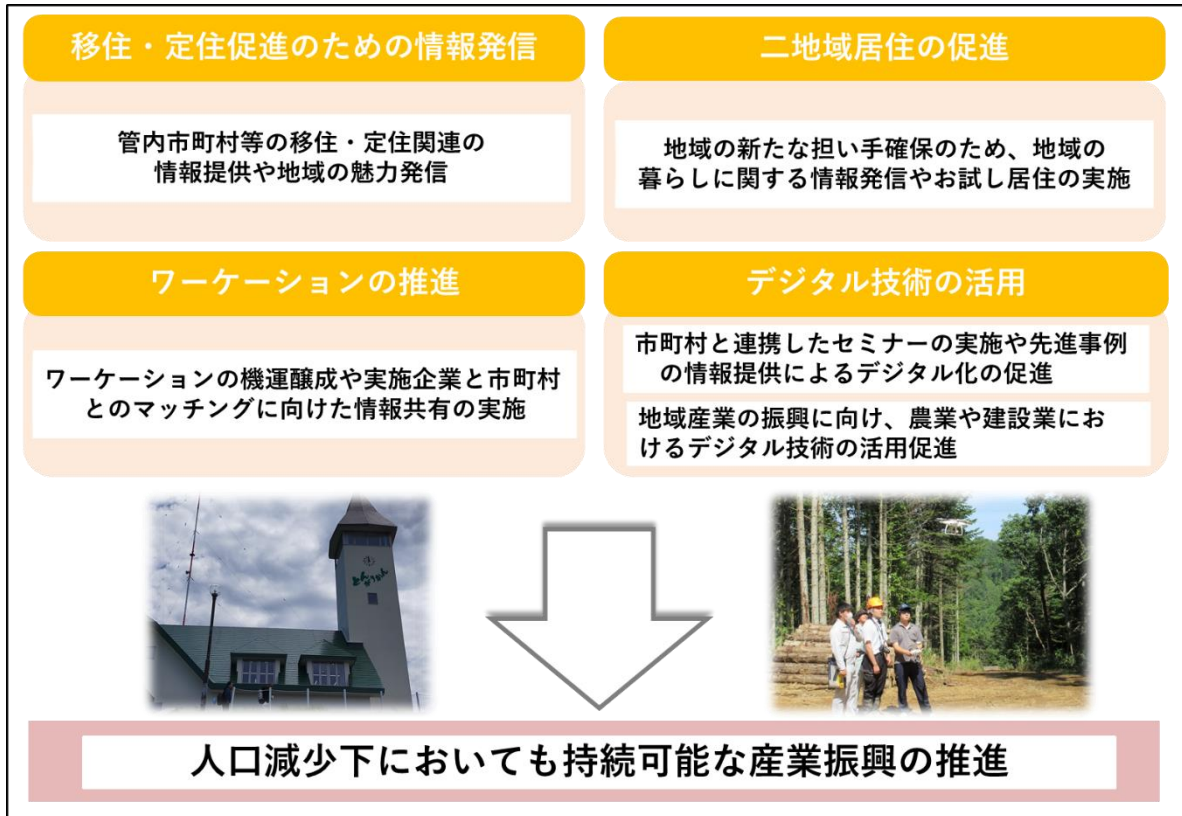
■ 地域おこし協力隊、外国人材など多様な人材の活用

- 地域おこし協力隊ネットワークとの連携
- 研修・交流会の開催
- 地域づくり関係者との連携
- 多文化共生の推進



■ 移住・定住の促進及びデジタル技術を活用した担い手不足対策

- 移住・定住促進のための情報発信
- 二地域居住の促進
- ワーケーションの推進
- デジタル技術の活用



関連するSDGsの目標

